

# エビデンスに基づいたPDDに対する薬物療法2

## ①リスペリドン(FDA2006年承認) 2016.2 日本で承認!

- ・効果: 攻撃性、多動、衝動、パニック(痙攣)
- ・副作用: EPS(一)、体重増加、心拍増加、疲労感、眠気、めまい、よだれなど

## ②メチルフェニデート(PDD+ADHD症状)(コンサータ錠)

- ・有効 しかし、ADHDのみの児・者より効果は低い
- ・興奮作用:(時に)興奮、多動、常同行動、  
情緒不安、チックなど症状の増悪することがある。

## ③定型抗精神病薬

- ・ハロペリドール、フルフェナジン、(チオリダジン)  
(有効とされてきたが、EPSなどあり現在推奨されない)

# エビデンスに基づいたPDDに対する薬物療法3

## ④ 非定型抗精神病薬 (EPSが少ない)

・リスペリドン(2016.2日本承認FDA2006年承認)、クロザピン、  
常同行動、攻撃性、多動、衝動、焦燥・パニック(癩癩)の改善  
オランザピン、ジプラシドン、クエチアピンなど

・アリピプラゾール(FDA2009年承認)(体重増加が少ない)

不安・焦燥・常同行動、攻撃性、多動、衝動、  
パニック(癩癩)の改善

## ⑤ ノルアドレナリン作働薬

・アトモキセチン(ストラテラ) (未だが、焦燥(不安)抑制?)

・クロニジン: 攻撃性、多動、パニック(癩癩)の改善

副作用: 血圧、眠気、耐性化など

# エビデンスに基づいたPDDに対する薬物療法4

## ⑥SSRI(選択的セロトニン再取り込み阻害薬)他、抗うつ薬 SNRI

- ・フルオキセチン/パロキセチン(パキシル):常同行動の軽減
- ・フルボキサミン(ルボックス):行動の活性化、軽躁状態誘発?
- ・クロミプラミン:てんかん閾値の低下 要注意
- ・サートラリン(ジェイゾロフト),シタプラム,エスタタロプラム,ミルタザン(有効):不安、攻撃性、儀式的行動、こだわり

## ⑦ GABA作働性薬

- ・ベンゾジアゼピン(BZD)系薬剤:行動障害悪化の可能性
- ・トピラマート(TPM):(不注意・多動改善? 認知力低下?)
- ・バルプロ酸Na(VPA):気分障害(興奮 多動改善?)

## ⑧ グルタミン酸作働性薬

- ・ラモトリジン(LTG):有意差(なし)
- ・D-サイクロセリン:過敏改善?

抗てんかん薬は、気分障害・興奮などへの作用が期待される。

小児科(神経科)医は処方し慣れている。  
「強度行動障害」:前頭葉脳波異常の指摘が多く、抗てんかん薬使用されることがある。

# エビデンスに基づいたPDDに対する薬物療法 5

## ⑪補完代替療法(薬剤を中心として)(有効性を証明するエビデンスなし)

- ・サプリメント(Vit B6、Mg)・胃腸薬療法・抗菌剤療法 ・グルテン・カゼイン
- ・フリーサイエツト ・Vit C ・セクレチン ・キレーション ・免疫グロブリン ・Vit A ・抗生物質ほか
- ・~~エチル水銀誘導体説(メチロサル:ワクチン安定薬)完全否定(虚偽データ)~~
- ・キレート剤投与 ・グルテン・カゼイン食餌療法 ・オメガ3

栄養障害、肝臓・腎臓障害など要注意！

**#オキシトシン**：脳下垂体から分泌されるホルモンで、最近 動物実験研究などから「愛情ホルモン」と呼ばれ、人でもその作用が脚光を浴び、ASDの人へ治療実験中である。オキシトシン点鼻(スプレー)成人20人二重盲検で、①相手の表情の読み取り(場を読む)の向上、②コミュニケーションの苦手意識の減少 の報告 2013.12

▪ Mitigation of sociocommunicational deficits of autism through oxytocin-induced recovery of medial prefrontal activity: A randomized trial JAMA Psychiatry

▪ <http://www.jst.go.jp/pr/announce/20131219> 東京大学 医学部 附属病院科学技術振興機構(JST)

心理社会的支援（治療）

福祉・療育・保健・教育など

合理的配慮

# 気になる子・グレーゾーンの子への対応

(手だては小学校低学年までが有効性が高い)

## ● 療育型支援(療育モデル)障害が明らかな場合

・子ども発達センター、療育機関など

- 環境調整： 親支援、保育所・幼稚園、学校等へのアドバイス、連携
- ソーシャルスキルトレーニング (学校・療育機関 夏合宿など)
- ペアレントトレーニング(就学前から低学年ごろまで)
- 心理療法 カウンセリング(児の心理的二次障害の対応、親支援)
- 作業療法 感覚統合療法(視覚認知課題、上肢操作課題など)

## ● 子育て支援型支援(育児支援モデル)

・健康福祉、保健センター (育児相談 発達相談)

・保育園、幼稚園など(育児相談)

・子ども家庭支援センター(育児相談)

・教育センター、相談所 (発達相談・教育相談)

・子ども発達支援センター(発達相談、子育て教室など)

■ ペアレントトレーニング(就学前から低学年ごろまで) など

## ● 家族支援

・療育機関への紹介

・親の会紹介(ペアレントメンタなど)

**「発達障害児」への手立て**  
**保育所・幼稚園（小学校低学年レベル）**  
**集団生活、家庭生活活動の場での手立て**  
対応の基本は定型発達児と同じ

障害を意識しすぎない  
誰にでも似ているところがある、という意識  
想像力を働かせよう

発達障害児にやさしい環境は  
定型発達児にもやさしい環境

# 学校、保育園・幼稚園・施設でできる対応の工夫

- ★視覚情報を取り入れる(言葉だけでなく)
- ★短い言葉のルール(標語みたいな)
- ★予定をはっきり 今日の手配、明日の手配、この授業の手配  
～の課題が終わったら～していいよ
- ★苦手なことを理解して場合によっては無理をさせない  
感覚過敏、未知への不安  
どこまで許すか
- ★問題行動おこる前に対処 肩をたたいて、キーワードを伝えて
- ★問題行動に対する対処  
具体的な質問で本人の考えていることを引き出す(落ち着いてから)  
行動のABC
- ★保健室・相談室・静かなスペースの利用  
パニック時、つらい時に利用できることを伝えておく
- ★ソーシャルスキル  
～したらどうする? ふだんからシュミレーション、何度も確認
- ★学習課題 能力の評価に基づいた指導(アンバランスさを理解して)  
スモールステップで達成しやすいように



# 家庭でできる対応の工夫

## ★ペアレントトレーニング

ほめかた(ほめる対象、タイミング、ほめ方)

ごほうび性:表をつくる

望ましくない行動は無視:ただし行動は見守って、やめたらすかさずほめる  
タイムアウト

## ★問題行動に対する対処

具体的な質問をして本人の考えていることを引き出す  
行動のABC

## ★注意する内容は統一する(父と母とでよく話し合っておく)

## ★おこられないですむように

やるべきことを書いておくと自分から動きやすい

朝のスケジュール、学校から帰ってからのスケジュール

## ★ ソーシャルスキル(理解)

~したらどうする? ふだんからシュミレーション、何度も確認

## 学習障害への予防的取り組みの試み（就学準備性）

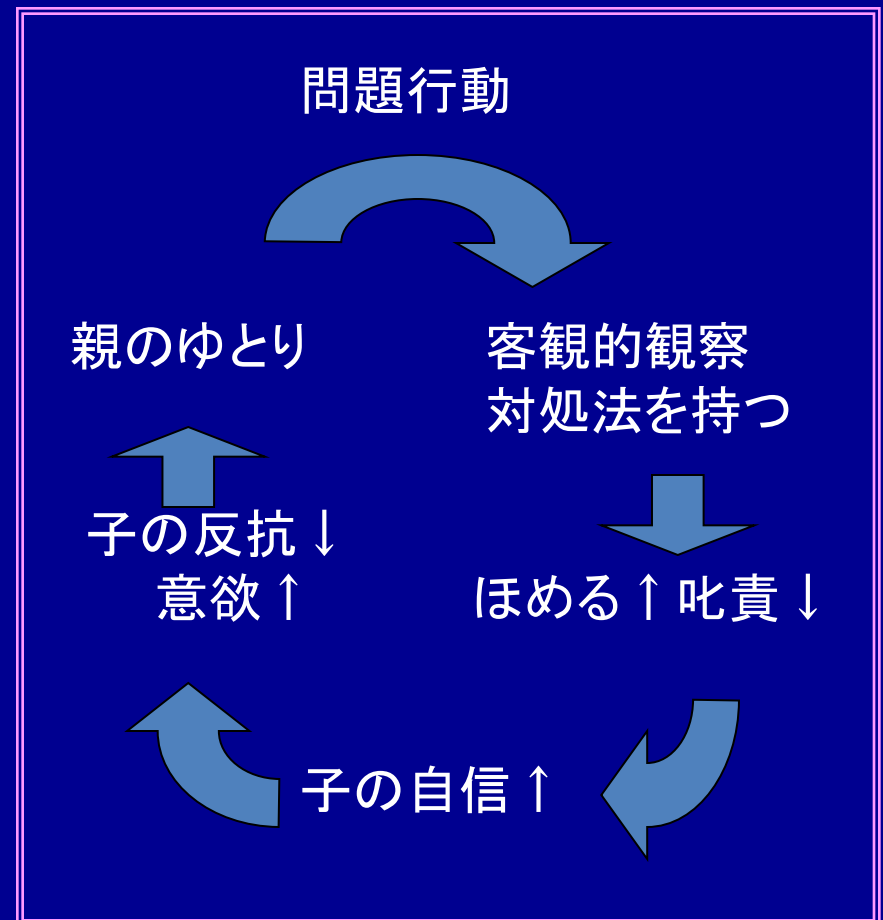
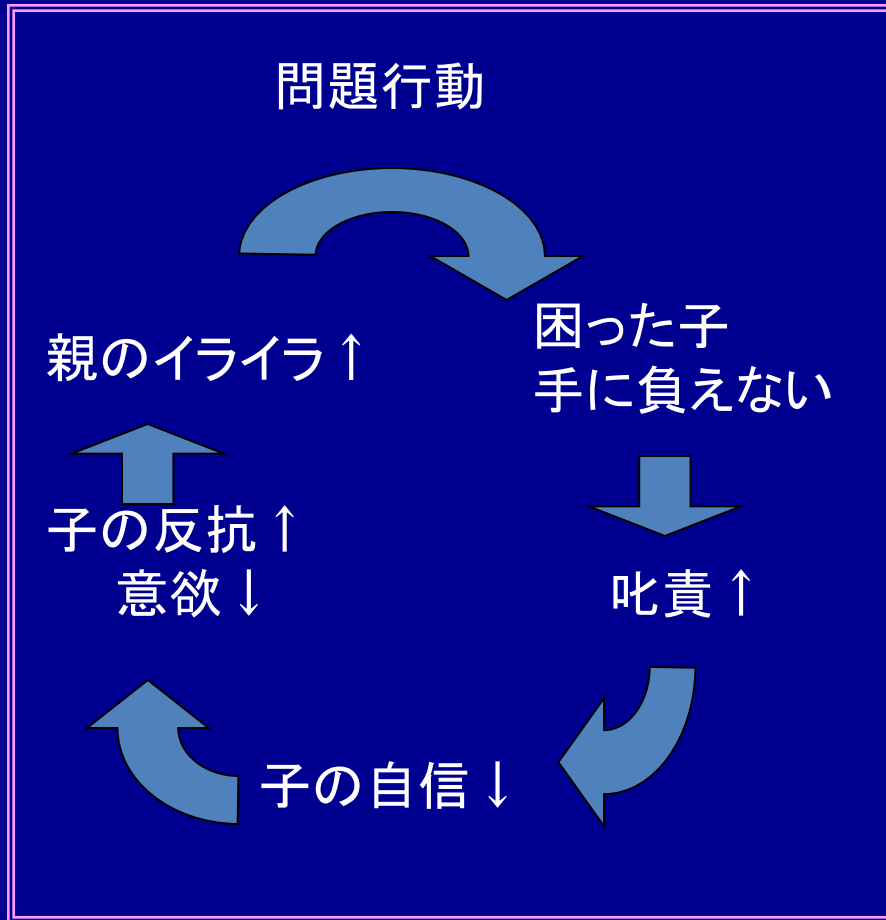
- ① ひらがなの読みの教育プログラム
- ② ひらがなの書きの入門教育プログラム
- ③ 語彙プログラム
- ④ 入門用数量・算数プログラム

を利用した、LDの可能性の高い幼児に対する  
予防教育研究（天野清）

# ひらがな文字の書き方のルール(仮説 天野清)

- 1) 横の直線は左から右に書く
- 2) 縦の線は、上から下に向かって書く
- 3) 「十」のように横の直線と縦の直線と交叉する場合横から書き始める
- 4) 二本の横線は上の線から書き始める
- 5) 二本の縦線は左の線から書き始める
- 6) 二本の横線が1本の縦線と交叉する場合は「横・横・縦」の順に書く
- 7) ○は時計回りに書く
- 8) 「す」のように結び目を書くときも、時計回りに書く
- 9) 横線と斜め線が操作するとき、横線を先に書く
- 10) 右部分左部分があるときは、左の方から書き始める
- 11) 一筆書きの続いている文字は、続けて書く
- 12) はねるときは、一度止めてから、「はねる

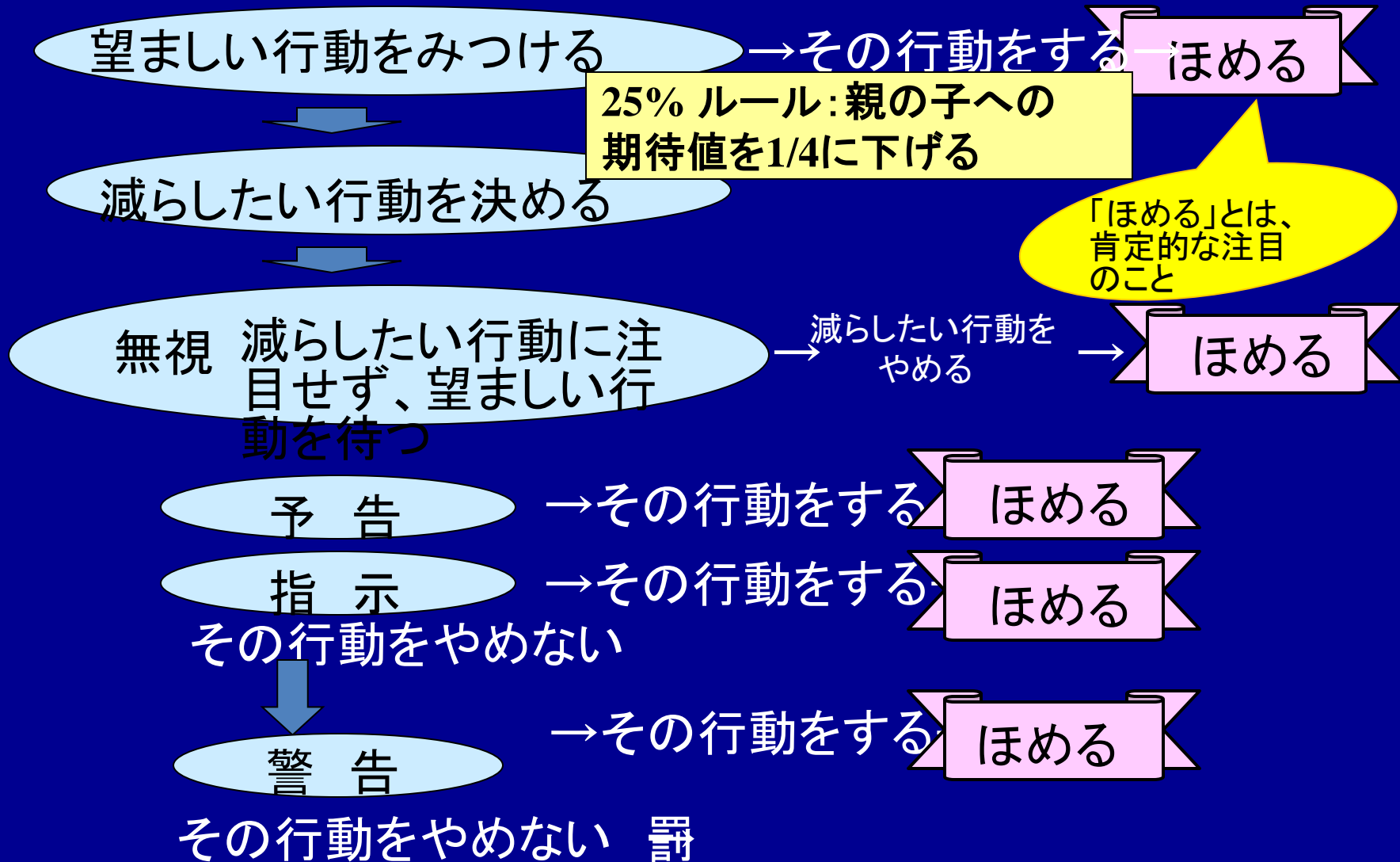
# ペアレントトレーニング



親子関係の「悪循環」を断ち切って  
「良い循環」にしましょう

# ペアレントトレーニング

ほめる力で望ましい行動を増やし、温かい親子関係をつくる



# ほめかたのポイント

- ◆行動をほめる… ○「靴下自分ではけてすごいね」  
×「いい子ね」
- ◆ひとつの課題を部分ごとにほめる 『25%ルール』  
最後までできてからほめようとするとはめられない
- ◆タイミング…できるだけ早く。行動の最中や直後。  
視線・からだ・表情・声の調子  
視線をあわせて、同じ目の高さで、そばにいて  
表情・声の調子であなたが気分がよいことを伝えます
- ◆言葉…短く、分かり易く。  
子どもの行為を言葉にして
- ◆その子の好きなほめられ方  
言葉でほめる、頭をなでられる、何気なくほめる、  
みんなの前でほめる 感謝される

# 3 感覚統合療法

## Sensory Integration (S.I.)

—乳幼児のための豊かな遊びと  
生活支援グッズの紹介—

心身障害児総合医療療育センター  
HPからダウンロード可能  
<http://www.ryouiku-net.com/>

# ソーシャルスキルトレーニング (Social Skills Training : SST) ソーシャル・スキル訓練の目的

## 1. ソーシャルスキルとは

- 人づきあいの技能  
「体験の中で身に付けたもの(学んだもの)」

## 2. 人との関わりの問題とは

- ソーシャルスキルを学び損なった  
→ 教えれば良い
- ソーシャルスキルを誤って覚えた  
→ 学び直せば良い



# ソーシャル・スキル訓練の方法

## 1. ソーシャルスキルの身に付け方

→ モデリング学習・オペラント学習

「してみせて言ってみせてきかせてさせてみて

ほめてやらぬと人は動かず」

## 2. ソーシャルスキルをどのように教えるのか

→ インストラクション → モデル提示 →

→ 行動リハーサル → フィードバック

小林正幸：自己効力感を育む「言葉のシャワー」研修会より

# 大学入試センター試験(平成27年度)障害のある方への配慮案内 受験上の配慮事項(「障害者差別解消法」に沿って)

## ○ 解答方法や試験時間に関する配慮

- ◆点字解答(試験時間延長1.5倍)
- ◆文字解答(試験時間延長なし、1.3倍)
- ◆チェック解答(試験時間延長なし、1.3倍)
- ◆代筆解答(試験時間延長なし、1.3、1.5倍)
- ◆マークシート(試験時間延長1.3倍あり)

## ○ 試験室や座席に関する配慮

- ◆1階又はエレベーターが利用可能な試験室での受験
- ◆洋式、障害者用トイレに近い試験室で受験
- ◆窓側の明るい座席、座席を前列、座席を試験室の出入口に近いところに指定
- ◆別室の設定

## ○ 持参して使用するのものに関する配慮

- ◆ 拡大鏡・照明器具・特製机・椅子・車椅

子、杖、補聴器/人工内耳の装用

## ○ その他の配慮事項

- ◆拡大文字問題冊子の配布(一般問題冊子と併用)
- ◆照明器具の試験場側での準備
- ◆手話通訳士等の配置
- ◆注意事項等の文書による伝達
- ◆リスニングの免除など
- ◆試験場への乗用車での入構
- ◆試験室入り口までの付添者の同伴
- ◆介助者の配置
- ◆特製机・椅子の試験場側での準備

☆ 障害種別からニーズに沿った配慮事項の選択へ

# 「合理的配慮実践事例データベース」インクルDB

(文部科学省) <http://inclusive.nise.go.jp/>

インクルDB (インクルーシブ教育システム構築支援データベース)

独立行政法人  
国立特別支援教育総合研究所  
NISE National Institute of Special Needs Education

文字の大きさ     
表示色の変更     
▶ [アクセシビリティツールを起動](#)  
▶ [ツールの使い方](#)

🏠 トップページ ▶ 実践事例データベース ▶ 基礎的情報 ▶ Q & A ▶ その他関連情報

トップページ

◎インクルDBについて

本サイトには、大きく2つのコンテンツがあります。

『「合理的配慮」実践事例データベース』は、  
文部科学省の「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」  
において取り組まれている実践事例について検索するシステム  
(データベース)です。

『関連情報』では、  
インクルーシブ教育システム構築に関連する様々な情報を掲載  
しています。



「合理的配慮」実践事例データベース

▶ 実践事例データベース

平成26年度実践事例データを9件追加しました。  
<実践事例データ 計142件 公開> (H28.2.22)

[【事例を閲覧・活用される際の留意事項】](#)  
[【実践事例データベースの検索方法】](#)

関連情報

▶ 基礎的情報

法令・施策や関連用語の解説など

▶ Q & A

インクルーシブ教育システム構築に関する 保護者向けの  
Q&A を設けました